



大國の子

R4. 6. 27 発行 校長：吉村 実

学校教育目標

「心豊かに、知性を磨き、たくましく
主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- よく考え、自ら学び 表現する子ども
- 心身ともに健康で、進んで行動する子ども

熱中症対策 ～コロナ対応と熱中症対応～

6月にもかかわらず、気温が35℃を超えるなど、真夏並みの暑さが続いています。山梨でも26日以降、猛暑日が予想されており、熱中症への対応が必要な状況です。

熱中症予防のためには、体内に熱をため過ぎないことと水分補給が重要です。予防策として学校では、次のように指導しています。

- こまめな水分補給 休み時間ごとに水分補給を促します。また、体育や屋外活動では、授業中の水分補給を促します。屋外での帽子着用を守らせます。
- 室内環境への配慮 換気をしながら、クーラーやサーキュレーターを活用し、室温が高くないように調整します。
- 登下校時「マスクをはずす」指導をしています。
- 体育や屋外活動でも、「マスクをはずす」指導をしています。

ご家庭におかれましても、学校の指導内容をご理解いただくとともに、十分な睡眠による体調回復や通気性のよい服装等にご配慮いただけますよう、お願いいたします。



○3年ぶりのあいさつ運動 ～地域に見守られて～

21～25日の4日間、3年ぶりにPTAや地域の方々において、「あいさつ運動」を実施しました。子どもたちは、保護者や地域の方々から声をかけられ、元気に「おはようございます！」と返していました。

参加された方々からは、「子どもは元気がいいのが一番！」「こちらも元気になる」と感想をいただきました。また、児童会のあいさつ活動も同時に行われ、多くのあいさつが行き交い、活気ある一日のスタートとなりました。

下校の際にも、多くの地域の方々に見守られて、安全に下校することができています。大國地区の教育力に改めて感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



○5月23日、30日 交通安全教室（1. 3. 4年生）

今年度、1. 3. 4年生が交通安全教室を実施しました。昨年度、本校児童の交通事故が例年以上に多く発生しました（特に、自転車による事故が多発しました）。そこで、昨年度コロナ禍で実施できなかった学年もしっかり指導を受けました。交通安全に十分に注意して、安全に生活できることを心から願っています。ご家庭におかれましても、放課後や休日の子どもたちの様子に注意していただき、日々の声かけをよろしくお願いいたします。



○プール指導 目標5回以上！！

今年度も、水泳の授業が始まりました。コロナウイルス対応として、昨年同様、クラスごとの少人数による実施としました。大きな水しぶきを上げ、広いプールをのびのびと泳ぎながら、プールを満喫しています！！

週1回実施ですので、児童も心待ちにしているようです。1学期終了までに、5回以上実施し、水中運動の能力を身につけさせていきます。ご支援、ご協力をお願いします。



○22日 児童会にこここデー

児童会が中心となって、クラス対抗の長縄大会を開催しました。初めての試みであり、練習時間もとれなかったことから、なかなか難しかったようでした。

それでも、全校児童が楽しそうに挑戦する姿は、微笑ましかったです。次回は、練習をして今回以上の記録に挑戦してほしいと思います。1年生も大縄デビューが楽しみです。



○17日 「ありがとう！ギャレット先生！」

ALTのギャレット先生が、母国アメリカに帰国することになりました。先生は、18年間の長い期間、甲府市を中心に県内ALTとして、児童の英語教育に携わっていただきました。大国小学校にも長い期間お勤めいただきましたので、ご指導いただいた児童も多くいました。お別れの集会も企画しましたが、日程が合わず、なかなか実施できなかったため、児童会の代表による、感謝のセレモニーを行いました。感謝の気持ちをこめて、児童一人一人からの寄せ書きと花束をお渡ししました。ギャレット先生からは、「これからも英語の学習をがんばってほしい。」とメッセージをいただきました。



離れていてもお互いに頑張ることを約束し、お別れのまとめとしました。ギャレット先生、今まで、本当にありがとう！！

○ちょっと一言

コロナ禍 3年目の子どもたち ～ 現状に見える課題 ～

- ① **体力の低下** 体力テストの結果でも明らかになっていますが、毎日の生活の中でもその様子が見られます。すぐに疲れる、ころぶ等、体調不良やけがを訴えてくる児童が急増しています。運動の機会を増やし、遊び方も工夫することが必要です。
- ② **「心」への影響** 個の生活様式が定着し、「自分の思い通りが当たり前」「友達と関わったり、集団で生活したりすることが苦痛」と感じる児童が増えています。つらいこともありますが、**それを乗り越える力**を身につけさせていきたいと感じています。ご家庭でもご協力ください。
(文責 吉村 実)